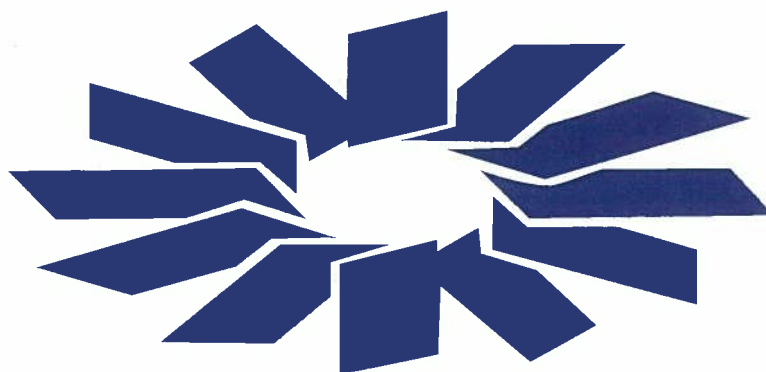


2012年度

2012. 10. 1～2013. 9. 30

環境活動レポート



作成 2013. 11. 8

改訂 2014. 2. 21



太陽精工株式会社

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

1-1. 事業所名

太陽精工株式会社

1-2. 所在地

本社 : 長野県茅野市宮川大悦9800-5丸山工業団地B
南工場 : 長野県茅野市宮川丸山10705-1
東京営業所 : 東京都八王子市名神町4-26-8リバーサイドビル3F

1-3. 環境保全関係の責任者

経営者 : 代表取締役社長 内田 俊則
環境管理責任者 : 技術部 QRMS課課長 木村 義文

1-4. 連絡先

本社 TEL 0266-72-1263
FAX 0266-72-0533
南工場 TEL 0266-73-5404
FAX 0266-73-5406
東京営業所 TEL 042-642-1351
FAX 042-642-1362

1-5. 事業内容

樹脂切削加工メーカー

1-6. 事業の規模

| 活動規模 | 単位 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | 2009.10~2011.03 | 2011.04~2012.03 | 2012.10~2013.09 |
| 売上額 | 百万円 | 2,554 | 1,861 | 900 |
| 従業員数 | 人 | 110 | 81 | 57 |
| 敷地面積 | m ² | 8603.8 | 8603.8 | 8603.8 |
| 床面積 | m ² | 5116 | 5116 | 5116 |

1-7. 事業年度

2012年度(2012.10~2013.09)

2. 環境方針

環 境 理 念

地球上の生命は総て環境権を有する。

‘ ひと ’ も自然界の一部である。

環 境 方 針

- ① 廃棄物は限りなく‘0’を目指す
- ② 環境負荷物質の使用は‘0’を目指す
- ③ 不良品は限りなく‘0’を目指す
- ④ CO2排出抑制
- ⑤ 排水量の抑制
- ⑥ 化学物質‘0’を目指す行動を行ないます
- ⑦ 購入する商品は省エネ、エコマーク商品を優先購入する
- ⑧ 社会貢献活動に支援する

環境を守る意識と育む知識で環境保護の継続的活動

2012年 4月 2日
太陽精工株式会社
代表取締役社長 内田 俊則

3. 環境目標

| No | 項 目 | 2011年度 実績 | 2012年度 目標 |
|----|-------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 1 | CO ₂ 排出量削減 (省エネルギー) | 購入電気量 1,508,357kWh | 購入電気量 前年度の 1% 削減 1,493,274kWh 以下 |
| | | | CO ₂ 排出量 前年度の 1% 削減 707,811.1(kg-CO ₂ /kWk)以下 |
| 2 | CO ₂ 排出量削減 (省エネルギー) エアコン | LPガス使用量 128,261Kg | LPガス使用量 前年度の 1% 削減 126,979Kg 以下 |
| | | | CO ₂ 排出量 前年度の 1% 削減 381,184.1(kg-CO ₂ /MJ)以下 |
| 3 | 総排水量削減 | 水使用量 1,804 m ³ | 水使用量 前年度の 1% 削減 1,786m ³ 以下 |
| 4 | コピー用紙使用量削減 | コピー用紙 0,800 ton | コピー用紙使用量 前年度の 1% 削減 0,792ton 以下 |
| 5 | 廃プラ排出量削減 | 廃プラ排出量 30 m ³ | 廃プラ排出量 前年度の 16% 削減 25m ³ 以下 |
| 6 | 効率の良いもの作り 不良率の低減 | 不良率 4.50% | 不良率 前年度の 33% 削減 3% 以下 |

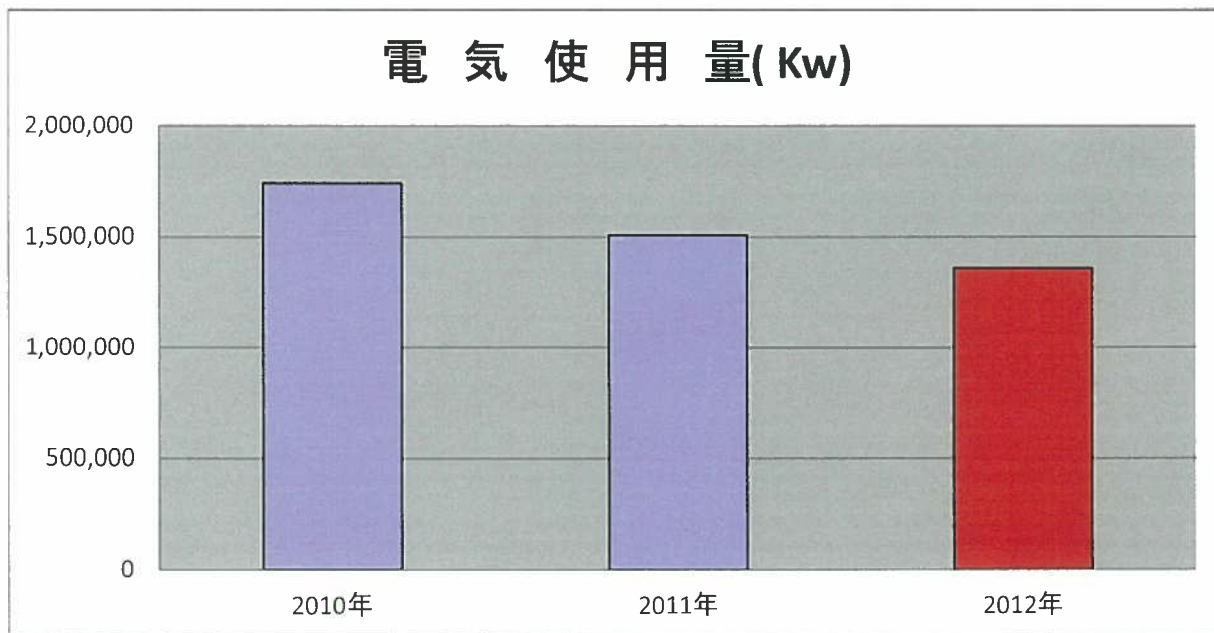
※排出係数 電気…0.474(Kg-CO₂/kWh) LPガス…0.0598(Kg-CO₂/MJ)

4. 当年度迄の活動内容

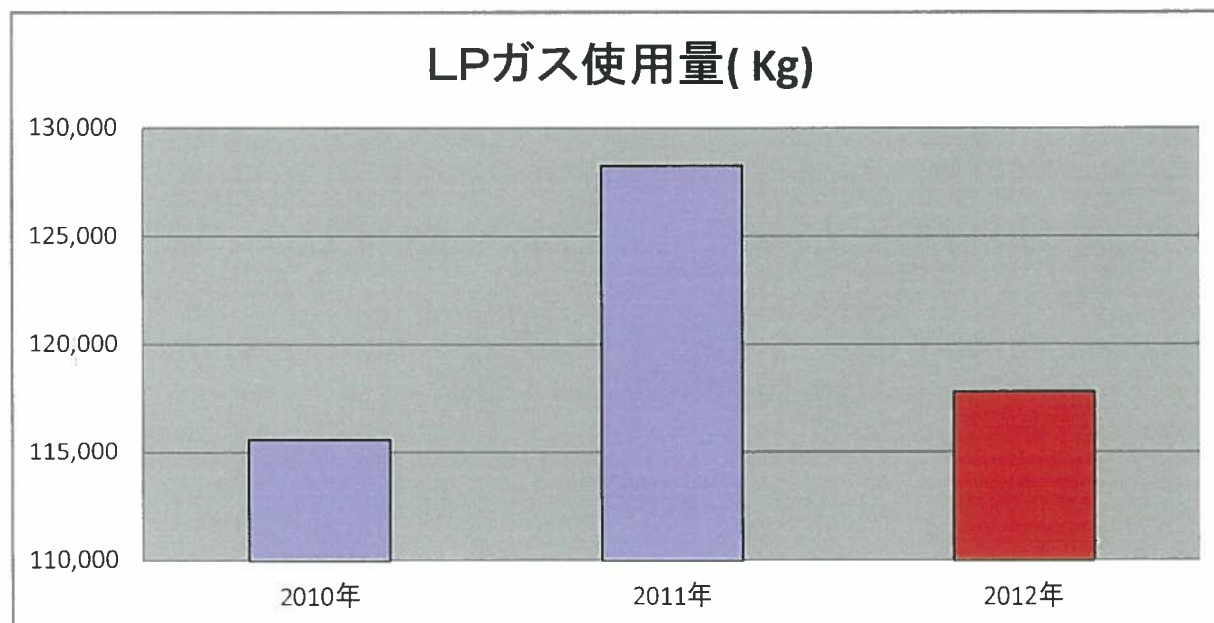
| 環境目標 | 項目 | 主な実施項目 | 取組結果の評価 |
|--------------------|--------------------|-------------------------------------------------------|---------|
| 電気使用量削減 | エアコン設定温度の基準決定 | ・事務所 空調 夏季28° 設定 冬季22° 設定 | ○ |
| | 蛍光灯の使用方法 | ・各蛍光灯にSWを設置 ・工場照明 水銀灯→蛍光灯に変更 | |
| | パソコンの節電 | ・10分後 スクリーンセーバー 30分後 モーター節電OFF 1分後時間をハードディスクOFF | |
| | 総合プリンターの節電 | ・使用後15分で低電力モード その後15分でスリープモード | |
| ガス使用量削減 | エアコン設定温度の基準決定 | ・工場内エアコンの補助として 1号棟A棟の屋根に地下水を散水 1号棟B棟の屋根に地下水を散水 | ○ |
| 水使用量削減 | トイレの節水 | ・トイレ用疑音装置の設置（女子） | ○ |
| | 流し台の節水 | ・全蛇口に節水コマ設置 ・節水ポスター設置 | |
| | 洗浄機の節水 | ・貯水タンクにフロートを設置し オーバーフロー防止 | |
| | 加湿機の節水 | ・貯水タンクにフロートを設置し オーバーフロー防止 | |
| 廃棄物排出量削減 | コピー用紙 | ・日程表のコピーをやめ、電子データ切り替える ・裏紙使用の推進 | ○ |
| 廃プラ排出量削減 | 廃プラ削減 | ・分別し、なるべく再生出来る物は再生へ | × |
| 効率の良い物作り 不良率の低減 | 製造原価の低減 工程不良の低減 | ・再作件数の削減 ・段取り時間の削減 ・残業時間の削減 ・改善提案 | △ |

5. 取組結果一1

| 購入電気量 1% 削減 | |
|-------------|-------------|
| 目標値 | 1,493,274Kw |
| 実績値 | 1,357,930Kw |
| 達成率 | 109.97% |

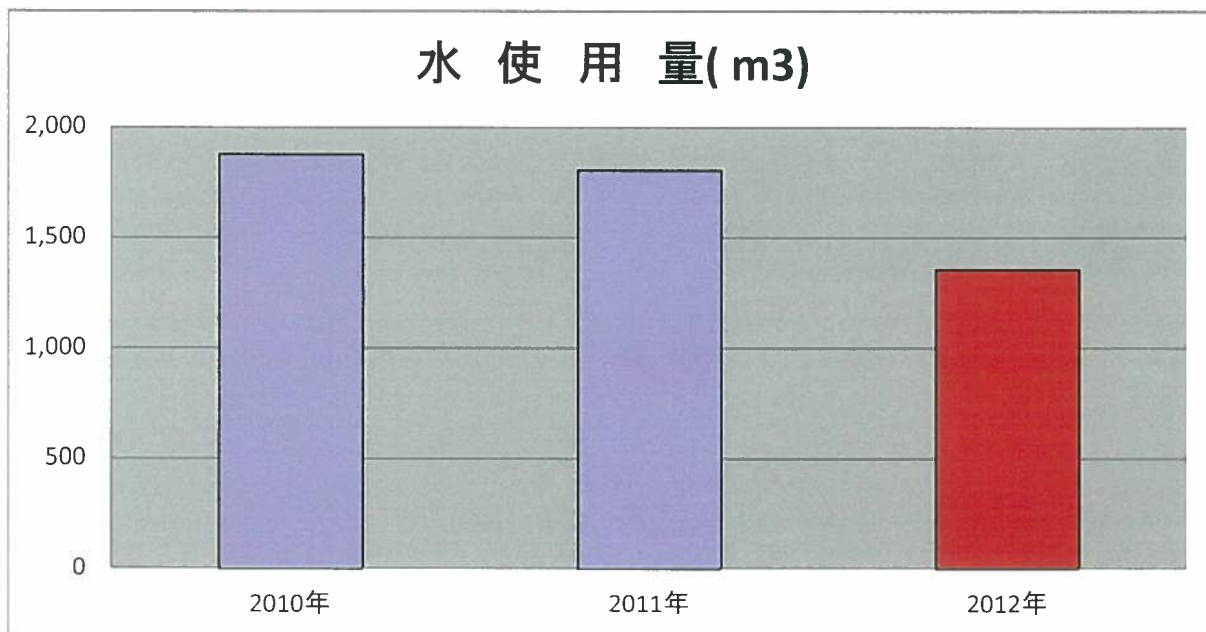


| LPガス使用量 1% 削減 | |
|---------------|-----------|
| 目標値 | 126,979Kg |
| 実績値 | 117,813Kg |
| 達成率 | 107.78% |

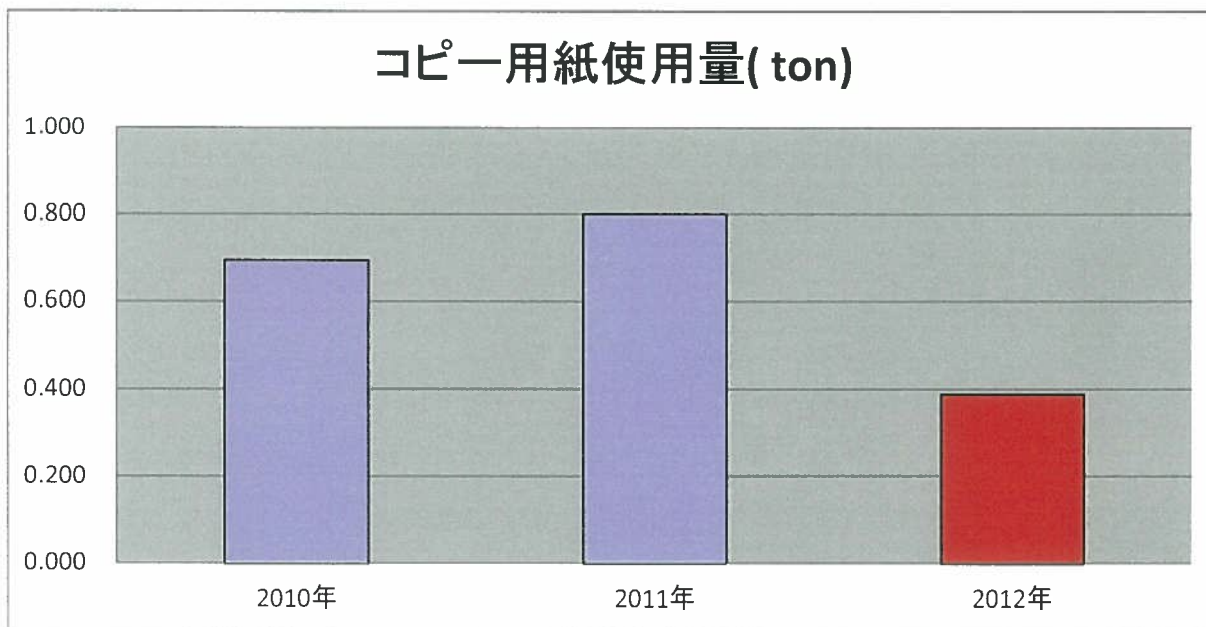


5. 取組結果一2

| 水使用量 1% 削減 | |
|------------|---------------------|
| 目標値 | 1,786m ³ |
| 実績値 | 1,352m ³ |
| 達成率 | 132,10% |

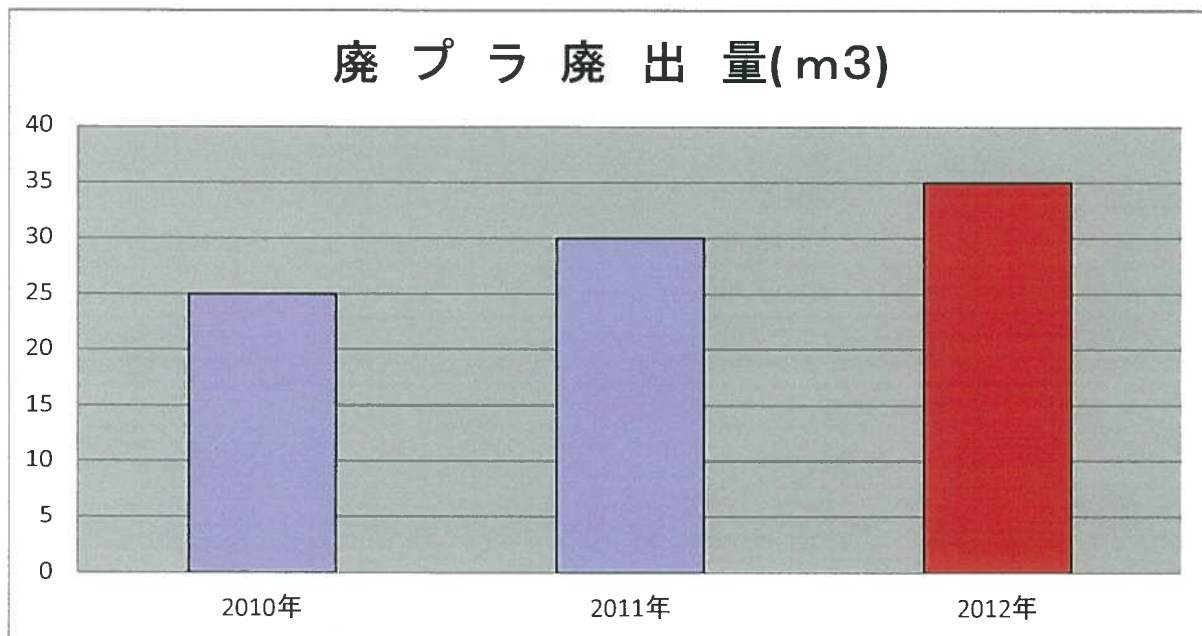


| コピー用紙使用量 1% 削減 | |
|----------------|----------|
| 目標値 | 0.792ton |
| 実績値 | 0.388ton |
| 達成率 | 204.12% |



5. 取組結果一3

| 廃プラ排質量 3% 削減 | |
|--------------|---------------------|
| 目標値 | 25.00m ³ |
| 実績値 | 35.00m ³ |
| 達成率 | 71.43% |



評 価

- ・ 電気購入量については、デマンド装置導入などにより、数値目標を達成する事が出来た。
- ・ LPガスについては、温度管理が必要な製品が有るため、大きく削減する事は出来ない状況にあるが、数値目標を達成する事が出来た。
- ・ 水使用量については、工程改善により30%強の削減が出来た。
- ・ コピー用紙使用量については、保管期限の過ぎた文書を再利用した結果、大きく削減をする事が出来た。
- ・ 廃プラについては、社内の整理・整頓を実施した結果、不流動在庫品を処分したため、増加してしまった。
- ・ 本年度の評価結果を次年度の目標に展開する。

次年度(2013年度)の目標

電気使用量…2011年度比1%削減を目標とする

LPガス…2011年度比1%削減を目標とする

水使用量…2011年度比1%削減を目標とする

コピー用紙使用量…2011年度比1%削減を目標とする

廃プラ…2011年度比14%削減を目標とする

6. 環境関連法規一覧

1) 環境関連法一覧及び適合性確認結果

| 区分 | 名 称 | 対象施設 | 対 象 内 容 | 記録・文書 | 適合性 |
|-----|--------|---------|-----------------------------------------------|------------|-----|
| 騒音 | 騒音規制法 | コンプレッサー | 特定施設(空気圧縮機7.5Kw以上)の保有により届出 | 届出書 | ○ |
| 振動 | 振動規制法 | コンプレッサー | 特定施設(空気圧縮機7.5Kw以上)の保有により届出 | 届出書 | ○ |
| 土地 | 工業用水法 | 井戸水採取 | 井戸水採取許可(指定区域) | 届出書 許可済 | ○ |
| 廃棄物 | 廃棄物処理法 | 産業廃棄物 | 産業廃棄物管理表の発行 | マニフェスト | ○ |
| 危険物 | 消防法 | LPGタンク | ・LPG 保有量本社985Kg ・LPG 保有量南工場 985Kg/498Kg | 届出書 | ○ |

2) 違反・訴訟等の有無

過去3年間関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情、訴訟はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 二酸化炭素排質量及び総排水量においては数値目標を達成し、廃棄物については、特殊要因で未達となってしまいましたが、活動内容は概ね良好と判断できる。一昨年より取組みを開始した『不良の低減』『生産効率の向上』については、先期及び今期に於いてもあまり良い結果が得られていない。不良を低減させ、効率的に作業を行う事が、結果として、資源・エネルギー・時間・コストの削減に繋がります。次年度は、この2項目について、数値による見える化を徹底して、ムダの削減に努めたいと考えます。目標の変更は行いません。

2013年10月18日

代表取締役社長 内田 俊則

8.緊急事態『訓練』実施状況

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 1) 通報訓練 | 消防署への通報訓練・火災報知器作動(ベル)・工場内放送による非難命令 |
| 2) 非難訓練 | 非難場所への避難・人員点呼・非常持出・非常線の設置・本部設置 |
| 3) 初期消火訓練 | 消火器による消化訓練 |
| 4) 水防訓練 | 土のう積み工法を学ぶ訓練 |

1) 通報訓練実施(2012.08.23)

2) 避難訓練実施(2012.08.23)

3) 消火器訓練(2012.08.23)

4) 水防訓練(2012.07.20)

非難場所への避難



人員点呼



消火器の説明



消火器による消火



土のう積み



土のう積み



反省(評価)

- ・ 避難・通報・消火訓練における役割及び体制の再確認をする事が出来た。
- ・ 消火器訓練では、技能の向上・知識の習得が出来た。
- ・ 本年度は、水防訓練(土のう積み)を実施したが、今後予想される自然災害を想定した訓練を実施して行くことが重要である。